

キャラクター名  プレイヤー名

シンドローム	ソラリス	ワークス	UGN支部長D	カヴァー	小学生
オプション	ソラリス	年齢	29	性別	女
覚醒	忘却	衝動	恐怖	初期侵食率	34 %
出自	安定した家庭	経験	ドリームランド	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	0	2			2	行動値	4
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	6	1	1			8	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		9
回避			知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
透明の声α	交渉	8r+11	12			絶対の恐怖+コンセントレイト
透明の声β	交渉	8r+11				絶対の恐怖+神の御言葉+コンセントレイト
透明の声Σ	交渉	8r+11				絶対の恐怖+神の御言葉+コンセントレイト+オーバードーズ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
すごい服	16	1			装備している間〈交渉〉の判定値に+2

所持品		合計装甲:	1	合計回避:	0	
ロイス		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
		カウンターレネゲイドP		N		
		霧谷 雄吾	P 幸福感	N 脅威		
		大賀 輝生	P 庇護	N 嫌気		
		後輩	P 友情	N 恥辱		
			P	N		
			P	N		
			P	N		
			P	N		
		最大財産P:	16	残り財産P:	16	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
絶対の恐怖	7	3	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	交渉攻撃[攻撃力: +LV] 装甲無視							
神の御言葉	3	3	メジャー	-	-	対決	リミット	
効果:	《絶対の恐怖》の攻撃力を[LV×5] 1シナリオ3回							
オーバードーズ	1	4	メジャーアクション	-	-	-	100%	
効果:	こエフェクトのと組み合わせた判定では、組み合わせたエフェクト全てのレベルを+2する。この時、LVの上限を超えてもよい。ただし、この効果ではエフェクトの使用回数は増加しない。1シナリオ1回。							
コンセントレイト:ソラリス	2	2	メジャーアクション	-	-	-	-	
効果:	クリティカル値-LV(下限値7)							
命の盾	1	1	リアクション	至近	自身	対決	-	
効果:	ドッジを〈交渉〉で行う。							
麗しの容貌	★	-	常時	近接	自身	-		
効果:	何時でもかわいい							
声無き声	★	-	-	視界	対象	自動成功		
効果:	どこに居ても私の声が聞こえるよ。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

UGNで支部長を務める女性。  
本人曰く書類を纏めるのだけは得意で実務には向かないらしい。  
支部長への昇格についても全くもって理由が分からないと言っている。(言っている。)

もともと霧谷 雄吾直属の部下で、彼に10年以上みっちり扱われていた。  
そのこともありなんとなく言動、やり口に彼の面影がある。  
本人にそれを言うと『私を嫌な人間と言っているのかい?』と返される。  
霧谷 雄吾のことは嫌な人間だと語っているが、実際のところ…。

見た目は小学5年生(11歳)だが、年齢は29歳である。  
ある日『親に少し似てきた』という言葉聞いて以降成長が止まり、現在の見た目を保っているようだ。

子供時代について。  
犯罪者の子供として生まれ、幼い頃からネグレクトを受けていた。  
劣悪な環境なせいで心身ともボロボロだったが、親の評判のせいか周りに手を差し伸べてくれる人間もあらず、コンビニの廃棄物を盗んだり万引きなどをして飢えを凌いでいた。  
ある時自らの力に気が付き、幾らか乱用していたところUGNに目をつけられてしまう。  
UGNは親の逮捕と子供の保護という名目で彼女をその環境から救い出し、施設に入れ訓練を始めた。  
成長の過程で『自分に能力が無かったら手なんて差し伸べなかった』事実が気が付き脱走を試みたが失敗。  
以降そのことがトラウマとして加わっている様だ。